

津久井湖城山公園だより

12月号



❀ 今後のイベント情報 ❀

12月10日 (日)	城山キャスリング	歴史専門員の解説をききながら城山を散策します! 冬場は木々の葉が落ちて遺構が見やすくなる! 軽登山が可能な方限定。定員25名、要申込、参加費無料。10:30~15:00
12月16日 (土)	0歳から100歳まで 楽しもう! 音楽を	素朴な木の楽器マリンバとギターの音色を楽しみませんか。小さなお子さんから大人の方まで楽しめる楽しい時間です! 無料。要申し込み、定員約30人。①11:00 ②14:00 主催:あしたばら音楽ラボ シリーズ「音楽の庭つくい」として、15年間40回以上続いている企画です。
12月17日 (日)	いきものがたり	講師に繁田真由美さんをお迎えし、ムササビの話を伺い、ムササビがくらす夜の公園を歩きます。15:50~18:30。定員15名。要申し込み、先着順。申込開始11/17から。
1月7日 (日)	城山キャスリング	歴史専門員の解説をききながら城山を歩こう! 普段は人が通れない「大手道」と呼ばれる道を散策します。軽登山が可能な方限定。定員25名、要申込、参加費無料。10:30~15:00
1月13日 (土)	自然観察会(鳥)	野鳥をテーマに自然観察を行います。小学生以上対象で先着20名の予定。要申込。参加費無料。10時~12時。
1月21日 (日)	いきものウォッチング	鳥や虫、植物など月毎の見所を紹介します。申込不要、参加費無料。パークセンター前10時集合。12時まで。
1月27日 (土)	つくい考古学講座	(公財)かながわ考古学財団と共催で、県内の、津久井城にかかわりのある遺跡や津久井地域の遺跡に関する講座を行います。今回は山北町の河村新城の総括! 興味深い情報が盛りだくさんです。申込不要。根小屋地区研修棟にて10時~11時半。

※申込制のイベントは基本的に1か月前の9:00からのお申込み(電話・窓口)です。

※新型コロナウイルス感染拡大状況によりイベントやクラフトなど、

急きょ中止になる事があります。ご了承ください。

※イベント詳細はお電話等でお問合せください。



❀ 公園の定期開催情報 ❀

今月のクラフト 「ナチュラルカレンダー」 参加費:300円	土日祝日開催 *イベント開催時はお休み。 ①10:00~11:30 (受付は11:00まで) ②13:30~15:00 (受付は14:30まで)
15分でわかる! 城山スライド解説	第1・第3日曜日開催 3日、17日 14:00~14:15

❀ 今月のお休み ❀

12月4日(月)、18日(月)
午前中、パークセンター・研修棟は
お休みです。

☆ 年末年始の公園 ☆

12月29日(金)~1月3日(水)
パークセンター・研修棟は
終日お休みです。
管理事務所もお休みです。

12月公園の見どころ



●公園トピックス

12月といえはもう冬。わざわざ寒い時に寒い公園になんて…って思っている方はいませんか?歴史ファンには草が枯れて遺構がみやすくなる季節。鳥ファンには木々から葉が落ちて鳥が観察しやすい季節、ムササビファンも同様です。落ち葉ファンにはいろんな落ち葉が楽しめる季節。特にファンがなくても、寒い中を「寒い〜!」と言いながら歩くのも健康のためになるのです!みんな、冬の公園を歩いて健康になろう!

●パークセンター展示

パークセンターでは、竹ぼっくり、羽子板、けんだまなどのむかしあそび道具が大人気です。でもご存じですか?他にもかるた、ふくわらい、すごろくなどの貸し出しがあるのです。特にかるた、すごろくは当公園オリジナルで、自然や歴史をもとに作った手作りなのです。これから冬休み、お正月もやってきます。お友達や家族と輪になって遊んでみませんか?研修棟でのご利用なので、雨の日や寒い日でも暖かくして遊べますよ!

●いきものたち

日没が1年で一番早い12月は、早い時間からムササビ観察のチャンスがある季節です。ムササビは日没から30分後位に巣から出て活動を始める完全夜行性の動物だからです。夜空を滑空して移動し、木の葉や実、花や芽など、四季を通じて様々な旬の植物を食べます。とは言っても真っ暗な公園で動物の観察は中々難しいですが、昼間に園路に落ちた食べあとを探すのはお勧めです。昨年12月には、アラカシやクヌギ、エノキの冬芽等の食べあとをよく見かけました。昼間の観察は年間を通じてその変化も楽しめます。パークセンターでムササビの展示もしているので、ぜひお立ち寄りください。

城山遺構あらかると ▲▲

其之二十四 大杉
2013年に落雷により焼失してしまった大杉。樹齢700年もしくは900年と謳われたこの木は、もはや遺構といってもよいのではないのでしょうか。飯縄神社の裏手、飯縄曲輪群の北端に位置しています。そこはちょうど見晴らしが開ける場所。津久井城のランドマーク的な存在だったとも思われるこの大木は、ハシゴをかけて登れば天然の見張り櫓としても十分機能したのではないのでしょうか。大杉は焼失後10年を経た2023年現在でも、まだほとんど燃えた直後の姿をとどめています。炭化が腐朽を遅らせているのでしょうか。それともなにかフシギなチカラをその身に宿しているのでしょうか。

津久井城電子矢文ご希望の方

公園の情報を毎月メールで配信しています。配信を希望される方はお名前(任意)と、本文に「津久井城電子矢文の配信希望」とお書きのうえ、下記メールアドレスにお知らせください。

tsukuikosiroyama@

kanagawa-park.or.jp

津久井湖城山公園パークセンター

TEL:042-780-2420 FAX:042-780-2422

<http://www.kanagawa-park.or.jp/tsukuikoshiroyama/>

受付時間:年末年始以外の9:00~17:00)

指定管理者:神奈川県公園協会・サカタのタネグリーンサービスグループ

